

令和3年6月8日

保護者各位

岐阜市立岐阜小学校
校長 藤田 忠久

登下校中における熱中症予防について（お知らせ）

平素より、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、梅雨の中休みが続いて気温や湿度が高くなり、今週も暑い日が続く予報になっています。そこで、岐阜小学校の考えた「登下校時の熱中症予防」について、改めてお知らせします。昨年度と同様に次のように指導しますので、ご理解ご協力のほど宜しく願いいたします。

記

1 脱水症状の回避

登下校中に脱水症状とならないよう、各自で水筒を持参し、水分補給を行うこと。

① 持参した水筒のお茶は終日にわたって飲んでよい。（これまでの「午前のみ」から改訂）

② 水筒のお茶がなくなったときや、下校中に不足しそうな場合には、学校の水道水を入れる。

※ お茶を凍らせた氷であれば水筒に入れてもよいようです（水を凍らせた氷は衛生面での安全性が確保できません）。

2 直射日光の回避

（1）安全帽子を必ず被り、できるだけ日陰を歩くこと。

（2）各自持参した日傘を利用してもよいこと。その際には、以下の事項に十分留意すること。

① 日傘が人や物に当たらないよう、振り回したり近づいたりしない。

② 両手が塞がらないよう、日傘以外の物は肩にかけるなどして手に持たない。

※ 「雨天以外の傘利用に慣れていないこと」「雨傘ではアスファルトと傘の間に熱がこもること」「視界が遮られたり手が塞がったりして危険が増すこと」などの理由から本校では「小学生の日傘の利用は推奨できない」と考えていますが、利用禁止と言うことではありません。ご家庭でもよく話し合ってみてください。

3 体温上昇の防止

（1）できるだけ通気性のよい服装を心がけること。

（2）冷感マフラー（水に濡らしたり保冷剤を包んだりしたタオルなどを首に掛けること）を使用してもよいこと。その際には、以下の事項に十分留意すること。

① 首に巻き付いて苦しくなるようなことがないようにする。

② 振り回すなど、体を冷やす以外の目的では使わない。

4 マスクの着用

（1）気温や湿度が高い日はマスクを外してもよいこと。その際には、以下の事項に十分留意すること。

① 息が弾むことで平常時より飛沫がより広く拡散するため、走ったりして息がはずむような動きはせず、会話も極力控える。

② 児童間の距離を2 m程度あけて登下校すること。その際は、間隔の維持や交通安全に気をつける。

（2）会話を控えることや身体的距離を保つことが難しい場合は、マスクを着用すること。